

令和8年度 施政方針

2月10日に行われた菊川市議会定例会の冒頭において、長谷川寛彦市長が市政の実現に向けた施政方針を表明しました。その内容を抜粋して掲載します。

問い合わせ 企画政策課企画係(☎35・0900)

施政方針の全文は、市ホームページ(下記)よりご覧ください▼



新たなまちづくりのスタート

令和8年度、菊川市は新たな未来にむけて大きな一歩を踏み出します。この先、8年間のまちづくりの道しるべとなる第3次菊川市総合計画がよいよスタートします。計画では、市民の皆さんや企業、行政が力を合わせて、一つひとつの課題を解決していくことで、誰もが夢叶い、幸せを創り生み出していくまちを目指していきます。菊川市に関わる皆さんの想いや挑戦がまちの力となり、幸せあふれる菊川市をつくっていき、その出発点となります。

多様化する課題への対応

菊川市を取り巻く社会状況に目をむけますと、少子高齢化・人口減少問題やエネルギー・物価高による不安定な地域経済、頻発化する自然災害など、私たちが直面する課題は多岐にわたります。特

に出生数の減少は、想定を上回るスピードで進み、今後のまちづくりに大きな影響を及ぼしつつあります。こうした現実に対し、人口減少を抑えるための「緩和策」と、人口が減少しても持続可能な地域社会を築くための「適応策」を両輪で進めていくことが重要となります。

市民のための市役所の実現

これらの取組を着実に前に進めていくためには、市役所そのものの力を高めていくことも欠かせません。福祉分野における重層的支援体制整備にむけた取り組みに合わせ、これまで以上に庁内の横のつながりを強め、関係部局が連携して、市民の皆さんに寄り添った行政サービスを提供していきます。職員一人ひとりが柔軟な発想で新しいことに挑戦し、常識にとらわれない組織風土を育てていくとともに、「行政は最大のサー

幸せを実感できるまちへ

「ビジネス」として市民のための市役所の実現に取り組んでまいります。

これまでみどり豊かな自然環境と、便利さ・快適さとのバランスが取れたまちづくりを進めてきました。こうした取り組みが評価され、民間会社の調査において、ウェルビーイングに通じる「街の幸福度ランキング」で静岡県内第1位という大変名誉ある結果をいただきました。この結果に満足することなく、これからも高齢者から若者まで誰もが幸せを実感できる「住みたいまち菊川市!!」と心から思えるよう、将来のまちを形づくるための新たな「夢叶う幸せのタネ」をまく取組を進めていきます。一つひとつのタネが少しずつ芽を出し、誰もが幸せを実感できるまちへと育っていく、そのようなまちを創り上げてまいります。



夢叶う
菊川市長 長谷川寛彦

菊川市がこの先、8年間で目指すのは、誰もが夢叶い、幸せを実感し、その幸せが広がり続けるまちです。今後も菊川市のもつポテンシャルを最大限に引き出し、魅力を高め、住みたいまちづくりに全力で取り組んでまいります。